

第21回 秋の縄文野焼き祭り

母なる大地、息づく縄文の魂よ。

2015年10月11日(日) (雨天時12日)

【時間】午前9:00～午後4:00

【会場】猪風来美術館前広場(駐車場あり)

入場無料

●縄文の炎 コラボ・パフォーマンス

午前11:00～おやじバンド V-STAFF 演奏

午後 1:00～みんなで縄文太鼓を打ち鳴らそう!
(フリーマイク・フリーステージ)

●縄文野焼き大賞

焼き上がった作品から選ばれます!

●縄文体験コーナー

縄文土器で煮炊きをしよう!
土偶や勾玉をつくろう!

●販売コーナー

昼食・飲み物など用意しております

猪風来美術館
新見市法曾陶芸館
開館10周年記念企画

《第21回 秋の縄文野焼き祭り》



縄文の炎 コラボ・パフォーマンス

- 午前11時～おやじバンド V-STAFF 演奏
- 午後1時～みんなで縄文太鼓を打ち鳴らそう！
(フリーマイク・フリーステージ)

土器は縄文スピリットの器、そして母なる大地の化身。心を込めた土器・土偶を焼く縄文の炎が燃えさかる時、魂が震え足は大地を踏み鳴らし体が自然と揺るぎます。縄文太鼓を打ち鳴らし笛や踊りが始まると、そこは縄文夢空間！

● 縄文土器で煮炊きをしよう！

縄文時代には、炉にすえた土器で温かい汁物を作り味わっていました。みんなで土器のまわりに薪をくべ、野菜や山のキノコたっぷりの美味しい汁を作って食べよう！

- (お昼頃～／無料)

縄文体験コーナー

● 石でまが玉をつくろう！

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

- (随时／黒・ピンク・白各500円)

販売コーナー

地元の法曾焼同好会が、昼食や飲み物のほか、法曾焼茶碗や法曾茶などを販売いたします。どうぞご利用ください。

● 粘土でつくろう！
縄文粘土で小さな土器や土偶・オブジェなどを作ってみよう。縄目文様を入れると縄文の魂が宿ります！

- (随时／300円)

● 縄文野焼き祭りとは？

開館以来10年間、縄文スピリットにもとづく陶芸教室と縄文野焼き祭りを館の主要な活動として行ってきました。なぜ今、縄文野焼きなのか——窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼き上げる縄文野焼きは、自然と共生し、生と死と再生への畏怖と祈りを抱く縄文の世界観を体感することができます。陶芸教室生や子供たち、法曾焼同好会員などによる作品約150点をスタッフ・協力者たち皆で焼き上げます。

～生命と魂の根源力～

縄文スピリットから始まる創造の新時代

縄文の自然観・宇宙観に学び表現を発展させる、多彩なジャンルでの現代縄文アートの潮流がいま国内外で注目されています。今年6月には開館10周年記念企画として現代縄文アート展『ARTs of JOMON in 新見』を開催。全国の縄文アーティスト26人の作品が一堂に会しました。

縄文野焼き大賞

この日焼き上がった作品の中から、特に縄文造形の素晴らしさや独創性に優れたものを選び「縄文野焼き大賞」をはじめ各賞を選考・表彰いたします。受賞作品は後日、猪風来美術館に展示いたします。

● 館内案内

館内では常設展のほか、現在〈企画展〉猪風来の縄文夢宇宙「花と精霊」展を開催しております。この機会にぜひご観覧ください。(観覧料が必要です)

- 日時 2015年10月11日回 AM9時～PM4時 ※雨天時12日
- 会場 猪風来美術館前広場 入場無料(館内は観覧料が必要です)
- 主催 新見市教育委員会・猪風来美術館(新見市法曾陶芸館) 法曾焼同好会
- お問い合わせ先 猪風来美術館 TEL・FAX 0867-75-2444
〒719-2552 岡山県新見市法曾 609



猪風来美術館
新見市法曾陶芸館
<http://www.ifurai.jp/>

■アクセス
岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分